授業科目名・形態	精神保健福祉援助演習Ⅰ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　藤田博章　松本和剛	実務経験の有無	無	開講期	３年前期
科目ナンバリング	W5-3006p				

【授業の主題】

本講は、精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を的確に聞き取り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性（知識、技術、価値）の基礎を獲得する。

【到達目標】

精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を的確に聞き取り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性（知識、技術、価値）の基礎を獲得する。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション：精神科ソーシャルワークにおける事例とは何か、事例検討（演習）の進め方
第 2 回　ソーシャルワークの過程を通した援助①：ケースの発見
第 3 回　ソーシャルワークの過程を通した援助②：インテーク
第 4 回　ソーシャルワークの過程を通した援助③：アセスメント
第 5 回　ソーシャルワークの過程を通した援助④：プランニング
第 6 回　ソーシャルワークの過程を通した援助⑤：支援の実施
第 7 回　ソーシャルワークの過程を通した援助⑥：モニタリング
第 8 回　ソーシャルワークの過程を通した援助⑦：支援の終結と事後評価
第 9 回　ソーシャルワークの過程を通した援助⑧：アフターケア
第 10 回　ソーシャルワークの過程を通した援助⑨：個別面接
第 11 回　ソーシャルワークの過程を通した援助⑩：グループワークの展開
第 12 回　ソーシャルワークの過程を通した援助⑪：ケア会議や関係者会議のコーディネートとマネジメン
第 13 回　ソーシャルワークの過程を通した援助⑫：リハビリテーションプログラムの実施
第 14 回　ソーシャルワークの過程を通した援助⑬：アウトリーチ、コミュニティソーシャルワークの展開
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

相談援助事例を体系的に取り上げた個人演習・グループ演習とする（必要に応じて講義形式を取り入れる）。

【事前・事後学習】

毎回、テキストを中心に 30 分の予習を行い、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。また、演習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習指導、精神保健福祉援助実習、精神科ソーシャルワーク論、精神科リハビリテーション学ⅠⅡ、精神保健福祉援助技術各論ⅠⅡ、地域福祉論ⅠⅡ、福祉行財政と福祉計画

【教科書等】

最新・精神保健福祉士養成講座【専門科目】7　ソーシャルワーク演習（精神専門）中央法規 2021 年版

【参考文献】

授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

提出物（レポートなど）70%、グループワーク等への取り組み状況 30%で評価する。60%以上の得点で合格とする。

【学生へのメッセージ】

精神保健福祉士としての課題は精神障害者の生活問題に対応するために社会的復権と人権擁護の役割を担い、社会復帰を妨げているといわれる障壁を取り除き、地域社会の体制を整えることが挙げられる。利用者との「かかわり」を大事にする専門職の実践への準備ととらえて演習に臨むこと。